

平成 21 年度 八王子テレメディア株式会社 放送番組審議会議事録

出席委員（敬称略）

川崎 嘉元（会長）、中村 一男（副会長）、山崎純一、牛山 清志、杉本 敦子

審議会の内容

■会長・副会長選任 ■報告事項 ■ 番組内容についての意見

<報告事項>

① 会社の概況、経営状況とCATVを取り巻く環境の変化について

②平成21年度のコミュニティチャンネルの概要紹介と実績報告

○制作体制と主要な番組の紹介

○定点カメラ映像や学校給食情報などデータ放送の新サービス紹介

○番組モニター制度導入などの番組を客観的に評価する体制について

③平成22年度のコミュニティチャンネルの新たな取り組みについて

○デイリーニュースの放送時間拡大など、さらなる充実

○将来のアーカイブ化をにらんだ地域番組の蓄積

○八王子地域にある複数の大学と連携した番組作り

○大手メディアとタイアップした特番放送を通じての

コミュニティチャンネルの視聴機会向上

<番組内容や報告事項に対する委員からの意見>

○国際チェロコンクールの企画番組において、コンクールだけでなく商店街なども取り上げてみんなが元気になるように仕向けたのが良かった。

○地域の各大学との連携番組（八王子未来学）はとても良い。学校や大学生の取り組みが番組を通じて紹介されることは、今後も八王子で何かしたいというきっかけになる。

○デイリー八王子は当日の事件なども扱いスピード性があって良い。

またデータ放送にインフルエンザの相談所電話番号を載せて市民に役立つ情報を提供している。

○八王子のアイデンティティをどうやって作るか高尾山の観光客を八王子市内に呼び寄せたい。

そうしたことにコミュニティチャンネルが貢献してほしい。

○大学の授業でも八王子の歴史をテーマにしているので、活用できるような番組ができると良い。

○郷土への愛着が若い世代ほど薄くなっている。ケーブルテレビのコミ c hの番組は、郷土への関心を高めるコンテンツを提供できる素養が十二分にあるので、今後も魅力あるコンテンツ作りをお願いしたい。

○2代目（若い世代や将来八王子に定住するであろう世代）を狙った催しをもっと積極的に行うことが大事。例えば大学生などに(中継)イベントなどを任せるなど学園都市をもっとアピールしたい。